

和楽器演奏堪能、植樹も

札幌南月寒小で「桜プロジェクト」

道内初

日本文化の良さを感じてほしい。札幌市立南月寒小学校(森雅彦校長)でこのほど、和楽器奏者AUN(アウン)による演奏会が行われた。写真。大和ハウス工業(株)による「桜プロジェクト」の二環であり、北海道では初めての実施。和太鼓や三味線の音色に聴き入ったほか、桜の木も植樹した。

大和ハウス工業が二年前から進めている桜プロジェクト。環境住宅を建てたために売り上げの一部を充てて全国の小学校に桜の木を植えている。樹木を植える

ことは生命を植えることであり、未来を担う子どもたちに命の大切さを考えてほしいと願っている。

さらに植樹だけではなく、和楽器演奏を聴くことを通じて日本文化の素晴らしさ、美しさを感じ取ってもらっている。

これまで全国の小学校十回、北海道で初めての実施。校区内には大和ハウス工業が造成した分譲地があり、そこから通う児童もいることから同校が選ばれた。



当日は四、六年生の児童が双子の和楽器奏者「AUN」の良平と公平の演奏を鑑賞した。

和太鼓と三味線の迫力あ

る演奏で児童を魅了するとともに、三味線の種類や弦の数なども説明。また、横笛で桜にちなんだ曲も披露し、一緒に歌詞を口ずさむ児童もいた。

大和ハウス工業の桜プロジェクトリーダーである内田雄司氏は「大和ハウスの名前にある『和』の心を感じてほしい。日本の楽器のかわさきを知り、もっと日本文化を理解しようと思ってくれれば」と期待していた。

演奏会後には、四年生が三本の桜の木を植樹した。